

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月12日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令で定められた基準値以上の広さもあり、療育と余暇の部屋を分けています。	今後も利用定員とスペースの関係が適切になるように努めて参ります。
	2	○		基準を上回る配置で対応しており、職員全員が資格者となっております。	今後も継続して、適切な配置に努めて参ります。
	3	○		バリアフリー化は今後の検討課題ですが、学習と活動の部屋を分けることで、過ごしやすい環境設定ができています。	今後も必要に応じてバリアフリー化の検討を行って参ります。
	4	○		毎日事業所内の清掃を丁寧に行い、机・イス・玩具・ドアノブ等も除菌・消毒を徹底しています。	コロナ禍の対応としてマスクの着用・手洗い・三密を避けるなど感染症予防対策を行って参ります。今後も児童が活動しやすく、清潔で衛生管理を徹底し、心地よく過ごせる空間作りを継続して参ります。
業務改善	5	○		定期的に職員全員でミーティングやリフレクション会議を行い、職員間で業務改善に対して情報交換・共有・振り返りを行っています。	今後も会議で情報交換・共有・振り返りを徹底し、より良いサービス、より良い支援、業務の改善に努めて参ります。
	6	○		年一回保護者様へアンケートを配布し、ご意見は全職員で共有して検討を行い、業務改善に努めています。	頂いたアンケートの結果を踏まえて、職員全員で話し合い、できることから業務改善に取り組んで参ります。
	7	○		自己評価の結果は公式 Web サイトで公開しています。	今後も継続して、公式 Web サイトで公開して参ります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後課題として検討して参ります。
	9	○		年間計画を年度初めに計画し、毎月研修を行い、職員の質の向上、意識の向上に努めています。	今後も研修を行い、職員の資質の向上を図って参ります。
適切な支援の提供	10	○		アセスメントを適切に実施し、定期的に児童の状態や、保護者様のご意向を踏まえ、計画を作成しています。	今後も保護者様のご意向を踏まえた支援計画を作成し、児童や保護者様との日々の関わりの中で、ニーズや課題を検討して参ります。
	11	○		標準化されたアセスメントシートを用い、個人ファイルに保管し、活用しています。	今後も継続して適切にアセスメントツールを活用して参ります。
	12	○		児童発達支援ガイドラインを踏まえ、児童の状況やモニタリング、送迎時の面談で得たニーズを職員間で話し合った上で、児童に適した具体的な支援計画を作成しています。	今後もガイドラインに沿って、適宜モニタリング、担当者会議で見直しを行い、児童・保護者様のご意向を踏まえ、具体的な支援内容を勘案し個別支援計画を作成して参ります。
	13	○		支援計画を踏まえて職員が共通認識を持って支援に取り組んでいます。	今後も具体的な支援内容や個別支援計画を作成して参ります。
	14	○		全職員で意見を出し合い、チームで児童の状態に合わせたプログラムを立案しています。	今後も活動プログラムは随時チームで立案・計画して参ります。
	15	○		職員間でそれぞれ意見を出し、話し合い、プログラムが固定化されないよう工夫しています。	今後も、職員間で話し合い、児童が主体的に参加できる内容になるよう努めて参ります。
	16	○		児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しています。	今後も適切に個別活動と集団活動を組み合わせ、支援計画を立案して参ります。
	17	○		ミーティングで前日の様子や当日の支援内容を職員間で話し合い、情報交換を行っています。	今後も当日の流れ、支援内容や役割分担について情報共有の上、支援に取り組んで参ります。
	18	○		支援終了後は送迎もあり、全職員が集まるのが難しく、当日の支援の振り返りは、翌日のミーティングで全職員で共有しています。	今後も共通認識に努め、報告・連絡・相談を徹底して参ります。
	19	○		毎日記録に残し、すぐに検証と改善ができるように心がけています。	今後も継続して記録の記載を徹底し、より良い支援に繋げて参ります。
20	○		半年以内に必ずモニタリングを行い、保護者様のニーズと児童の現状を把握した上で計画の見直しをしています。	今後も必要に応じ、期間を問わずモニタリングを行い、計画の見直しを行って参ります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児発管と、支援担当者が参画しています。	今後も児発管が参加し支援を活かして参ります。
	22	○		ケースに応じて各関係機関と連携を取り、統一した支援が行われるようにしています。	今後も関係機関との関わりを継続し、連携した支援ができるように努めて参ります。
	23	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索して参ります。
	24	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索して参ります。
	25	○		関係機関とは担当者会議等を通して、情報提供や共有を行い、支援の方針が統一されるように努めています。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図って参ります。
	26	○		必要に応じて就学の際には移動先を交えて担当者会議を行い、事業所内の様子をお伝えし支援の方針が統一されるよう、情報共有と相互理解に努めています。	今後も保護者様の同意を得て、支援の見学を受け入れ、電話連絡を行い、相互理解を図り、児童の課題に向き合い、連携を深めて参ります。
	27	○		センターなどとは、情報交換を行い助言を受けており、児童が併用している他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	今後も積極的に連携を図り、研修や助言を受け、併用利用の事業所とも繋がりを絶やさず努めて参ります。
	28	○		現時点では、事業所主催の交流の機会は、企画できていません。	コロナ収束後に、保護者様のご意向をうかがいながら、交流機会を検討して参ります。
	29	○		コロナ禍でもあり、参加機会はありませんでした。	コロナ収束後、研修が行われる際は、積極的に参加し研鑽に努めたいと思っています。
	30	○		日頃より送迎時や家庭連携で児童の様子や状況について保護者様に伝え、発達課題について共通理解を持つようにしています。	今後も引き続き、保護者様と情報共有の充実を図り、共通理解に努めて参ります。
保護者への説明責任等	31	○		保護者様のお悩みやご相談を一緒に考え、助言し、保護者様に寄り添う支援を心がけております。	今後も継続して、保護者様のお悩みに寄り添う支援を行って参ります。
	32	○		契約時は、保護者様が分かりやすいように配慮しながら説明を行っています。説明時には、質問や不明点がないか確認しながら進めています。	今後も引き続き、分かりやすく丁寧な説明を心掛けて参ります。
	33	○		ガイドラインに基づいた支援計画を作成しています。保護者様への支援計画の説明には、分かりやすい言葉での説明を心掛け、保護者様の同意を得ています。	今後も保護者様のご意向や、児童の状況に応じた支援計画の作成に努め、丁寧な説明を心掛けて参ります。
	34	○		家庭連携や日々の送迎時等でご相談を受けたいながら、保護者様のお気持ちに寄り添いながら助言をお気持に繋げています。	今後も家庭連携や送迎時のみならず、いつでも子育てのお悩みについての助言を続け、保護者様から話しかけやすい環境を心掛けて、寄り添えるように努めて参ります。
	35	○		今年度はコロナ禍の影響で父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	コロナ収束後、ご意見を伺いながら、保護者様参加型の行事等の機会を検討して参ります。
	36	○		苦情があった場合は、すぐに職員間で話し合い、迅速に対応しています。また、苦情窓口と責任者を配置し、ご意見箱の設置も行っています。	今後もご意見には、できるだけ迅速な対応で早期解決に努めて参ります。
	37	○		公式 Web サイトのブログは、月一回事業所の様子をお伝えし、その更新はLINE 公式アカウントで毎朝お知らせしています。また年4回季刊誌を発行しています。	今後も情報を発信する度に保護者様にご案内し、より多くの方に活動内容をご案内できるように努めて参ります。
	38	○		個人情報記載された書類の破棄は、シュレッダーを利用し個人ファイルについては、鍵付の書庫にて保管・管理しています。	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を行って参ります。
	39	○		児童や保護者様の状況に合わせて十分に配慮した情報伝達手段で意思疎通を行っています。	今後も、児童や保護者様の状況を考えて、情報伝達や、意思疎通に配慮して参ります。
	40	○		今年度は、コロナ感染症予防の観点から、行事に地域住民をご招待する企画を行うには至りませんでした。	今後コロナの事態が収束した際には、事業所のイベントに児童と参加し、地域にお招きするなど、近隣の方々との交流の機会を設けて参ります。
非常時等の対応	41	○		事業所内にマニュアルを掲示し保護者様にもお伝えしています。また年間計画を立てて、訓練を行っています。	掲示場所を再度ご案内し、訓練実施の際には、連絡帳等で保護者様への事前連絡は、行っております。
	42	○		年度初めに地域住民を朝会、地震・火事・不審者などの避難訓練を定期的に行っています。	今後も定期的に訓練を行い、訓練後には改善点を話し合い、次の訓練に繋げて参ります。
	43	○		アセスメント実施の際、聞き取りをしています。発作時の対応を保護者様より詳しくお聞きし、全職員に周知徹底しています。	事前の情報収集と職員への周知、かつ定期的な振り返りを今後も行って参ります。
	44	○		アレルギーは契約時に保護者様から聞き取りを行い、全職員で情報共有を徹底しています。	今後も職員の周知を徹底し、食物の提供を行う場合は、細心の注意を行って参ります。
	45	○		ヒヤリハット報告書を作成し、職員全体で情報共有して、再発防止に努めています。	今後も継続して、ヒヤリハット事例を記録し、職員間で情報共有と認識一致に努め、再発防止に繋げて参ります。
	46	○		虐待防止研修を年間計画に盛り込み、研修資料を元に、虐待防止に関する勉強会を行っています。	今後も継続して虐待防止研修を行い、職員の資質の向上に努めて参ります。
	47	○		利用契約書には、身体の禁止が記載されています。現時点では拘束の該当者はいませんが、生命または身体を保護する為、やむを得ず身体拘束を行う場合は、書面にて保護者様の同意を得ることとしています。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行うときは、あらかじめ書面により保護者様から同意を得て、また、個別支援計画にも記載して参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。